

第5号様式（第7条関係）

会議録

会 議 の 名 称		第4回清須市緑の基本計画策定委員会
開 催 日 時		令和8年2月10日（火） 午後2時00分から午後4時00分
開 催 場 所		清須市役所 北館2階第1・第2会議室
議 題		(1) パブリック・コメントの実施結果 (2) 緑の基本計画（案）の確認 (3) 緑の基本計画【概要版】（案）の確認
会 議 資 料		資料-1 清須市緑の基本計画に係るパブリック・コメントの実施結果 資料-2 緑の基本計画（案） 資料-3 緑の基本計画【概要版】（案） 資料-4 緑の基本計画【子ども向け概要版】（案） 資料-5 今後の予定 参考資料 資料編
公 開 ・ 非 公 開 の 別 （非公開の場合はその理由）		公開
傍 聴 人 の 数		1人
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席委員	千頭委員（委員長）、伊藤委員（副委員長）、山田委員、 中西委員、後藤委員、松岡委員、小出委員、本間委員、 湯浅委員（代理：森井委員）、水谷委員
	欠席委員	0人
	事務局	[建設部] 片野建設部参事 [建設部 都市計画課] 鈴木都市計画課課長、鈴木課長補佐兼係長、村上主査、不破主事

会議の経過

1 開会（午後2時00分）

2 あいさつ

3 議題

○委員長

議題（1）について、事務局から説明をお願いします。

●事務局

資料－1に基づき説明。

○委員

緑化重点地区について、いくつかご意見が出ています。計画書本編を読むと、31頁から施策の説明が続いていますが、設定した緑化重点地区に対して何を行うかが施策の展開以降に出てきておらず、分かりにくい気がします。このタイミングで計画を変更するのは大変かもしれませんが、分かりやすい表現にしてはどうでしょうか。

○委員長

今は32頁の施策体系で9－4「緑化重点地地区における緑化の推進」を出して、その中身に44頁で触れており、45頁、46頁で区域設定の説明という流れとなっています。先に45頁、46頁の内容を書き、その後に施策の中身の内容を書いた方が良いということでしょうか。

○委員

32頁の施策の一覧の中で、緑化重点地区に関連する施策を示すのも良いかなと思います。

○委員

補足です。せっかく他のところで関連する施策が挙げられているので、緑化重点地区を定めた理由に対する施策を44頁の9－4「緑化重点地地区における緑化の推進」の下に書くのはどうでしょうか。例えば、今後開発で予定されている案件ですと、39頁や42頁などでは民間事業者への積極的な働きかけに関する施策、市街化編入や農地転用のところは農地を生産緑地として保全していく施策など、書いてある施策とリンクして緑化重点地区ではこのような施策を展開していきますと繋がった方が良いでしょう。

45頁で抜粋している都市緑地法運用指針の文章について、始め2つのポツの間に、具体的な施策を「当該地区において講じる緑化施策について定めることが考えられる」という一文があります。そのため本来は、緑化重点地区に対してどういう施策を考えていくかというところまで一緒に書かれていた方が良いでしょう。今の書き方ではわかりにくいと思います。

○委員長

44頁の9-4「緑化重点地区における緑化の推進」で基本方針が書かれていて、45頁で区域設定に関する内容だけになっているので、44頁に改めて前の施策で書いてある緑化重点地区で取り組む施策を再掲するのはどうでしょうか。

●事務局

44頁の市民緑地認定制度の事例紹介を変更し、施策の方を追記していく方向でしょうか。

○委員長

事例紹介に代わり、しっかりと取り組むことができる施策を記載するようにしましょう。しかし、全てやるかは必ずしも言えないと思いますので、断定的ではない書き方とした方が良いと思います。

○委員

パブリック・コメントの実施結果について、4頁(6)2、3番のご意見に対する市の対応で「都市緑化基金の活用」とありますが、清須市は都市緑化基金をお持ちでしょうか。また、作るご予定はありますか。

●事務局

まだ持っておらず、現時点で作る予定はありません。

○委員

都市緑化基金は、県の都市緑化基金から市町村の都市緑化基金に対する間接補助になるので、持っていない市町だと都市緑化基金は使えません。運用指針の例として都市緑化基金と記載していますが、実際に持っていないと都市緑化基金を使つての支援はできません。現時点で作る予定がないのであれば、「あいち森と緑づくり事業」の記載の方が良いのではないかと思います。

●事務局

都市緑化基金の創設は現時点では予定していないため、「あいち森と緑づくり事業」の記載に修正します。

○委員

4頁(6)4番のご意見に対する市の対応で、「過度な負担とならないように緑化推進に取り組んでいくことが望ましい」とありますが、義務緑化だけでは緑化重点地区に定めた意味がないため、「民間事業者による積極的な働きかけを行います」など前向きな文章に変えた方が良いと思います。

○委員長

3頁(4)のプレーパークに関するご意見について、内容のどこまでがプレーパークに関わっているかにもよりますが、市の対応では意見全体をプレーパークの内容として回答されています。ご意見に書かれている前半の「子どもたちの居場所作り」「高齢者の居場所作り」のところは別の回答を加えた方が良くもかもしれません。

●事務局

ご意見の後半に「赤ちゃんからお年寄りまで」という記載がありますので、意見全体としてプレーパークの内容だと捉えて回答しています。

○委員長

ありがとうございました。今回は最後の委員会となるため、いただいた意見の修正方法は、事務局に一任していただきたいと思います。

議題(2)について、事務局から説明をお願いします。

●事務局

資料-2に基づき説明。

○委員長

11頁の「②重要視する緑の機能や役割」の表の合計欄は、回答数の合計「2,980」を記載していますが、その場合、回答率がどのように算出したのか分からなくなります。回答率は回答総数1,161件に対する割合であるため、一般的に回答数の合計欄は「1,161」にしたいと思います。他市の計画などもみて判断してもらえれば良いと思います。

表紙、裏表紙に「清須市建設部都市計画課」となっていますが、一般的には「清須市」ではないでしょうか。

●事務局

「清須市」に修正します。

○委員

17頁の表には出典の記載がありますが、18頁、19頁の図表には出典の記載がないため、出典元を記載したほうが良いと思います。

●事務局

出典元を記載します。

○委員長

49頁、50頁に用語の説明がありますが、委員会設立の概要などは記載しませんか。

●事務局

前計画では記載しているため、追記します。

○委員長

別の自治体での緑の基本計画に関する意見で、表紙などのイラストに外来種ばかりが描かれているのではないかという意見が出たことがあります。イラストに掲載の樹種についても確認してみてください。

議題（3）について、事務局から説明をお願いします。

●事務局

資料－3、4に基づき説明。

本委員会で提示している概要版は素案であり、3月末の完成予定となります。

○委員

子ども版は非常に面白いと思います。最後の頁の「あなたの緑のまちづくり」について、いろいろと考えさせるところがありますが、子ども達が考えた結果を市役所にフィードバックする仕組みはあるのでしょうか。

●事務局

子ども向けの概要版については、校長会で先生方に一度説明しており、学校での活用について意見をもらい、より良いものにしていきたいと思っています。活用方法にもよりますが、学校の緑の学習の中でこの概要版を活用したときは、意見を集約して、市の方へフィードバックするように検討していきたいと思います。

○委員長

子ども達の意見を市の広報誌に掲載出来たらとても良いと思います。

○委員

子ども向け概要版の3頁、4頁について、3頁に緑地現況図が示されていて、4頁は緑被現況図が示されていますが、直感的に見ると、4頁の図面の方が緑の量が多く見えてしまい、緑が減っているという意味が子どもたちに伝わるのかなと思います。

●事務局

計画書本編の5頁、6頁では緑が減っていることが見えやすい対比になっているため、そちらをアレンジした図面の方が良いかもしれません。子ども向け概要版については視覚的にわかりやすいように修正します。

○委員長

3頁の緑地現況図に、学校の位置を重ねるのは難しいですか。子どもたちにとって、自分の学校の位置がわかっていたら、直感で見えてくれるかなと思いました。

●事務局

市内には小・中学校が計12箇所ありますが、学校の位置を図面に追加することは可能だと思います。

○委員長

概要版は印刷しますか。

●事務局

印刷したものを学校の図書館に置くことも考えています。まだ確定ではありませんが、一つの方法として、紙での配布ではなく、タブレット等を活用してデータでの提供も考えています。

○委員長

タブレットで図面を拡大すれば、拡大した精度で詳しく確認することはできるのでしょうか。

●事務局

図面の解像度にもよりますが、拡大して確認することは可能だと思います。

○委員

子ども向け概要版の5頁に「グリーンインフラ」という言葉が出てきますが、子どもはわかるのでしょうか。

●事務局

5頁、6頁以降は、子どもには難しい用語も入っているため、もう少しやわらかい表現にしようと思っています。現在、学校の先生方にどれくらいの年代を想定して作成すると良いかという部分も含めて確認をしています。市では小学校4年生くらいを対象と考えています。中学校の先生方にも確認していますが、中学生でも使用するのであればもう少ししっかりとした表現にしようと思っています。

○委員長

子どもが初めに地域との関りを学ぶのが小学校4年生だと思いますが、4年生では今の5頁以降の内容は少し難しいと思います。

●事務局

言葉の意味を調べるという点では、あえて難しい言葉を載せるという考え方もあると思います。その点も踏まえて学校の先生方の回答をいただきたいと思います。

○委員長

子ども向け概要版裏表紙のQRコードは緑の基本計画本編とリンクするようにしますか。

●事務局

現時点では緑の基本計画本編にリンクするように考えていますが、子どもの意見なども踏まえながら検討していきます。

○委員

一般向け概要版の1頁、3頁、8頁に「CHECK」項目がありますが、いくつあるのか分かるようにそれぞれに番号を振るのはいかがでしょうか。

●事務局

そのような形に修正します。

○委員長

8頁の「CHECK」に「ふうせん広場」と「ノリタケの森」が紹介されています。「ノリタケの森」は休みの日に行ったりすると思いますが、「ふうせん広場」に行ける可能性はすごく少ないと思います。市内でなくても、近隣で子どもが家族と行けるような良い事例があれば良いと思います。県から優良事例をご紹介いただけると良いです。

○委員

もし良い事例があれば紹介します。

○委員長

細かい修正等は事務局で調整していただきます。子ども版は先生方のご意見で内容が変わるかもしれませんが、大人向けと子ども向けで概要版を作成しているということをご理解いただきたいです。

計4回にわたって議論していただき、良い計画案ができたかなと思います。

今後の予定を事務局からご説明をお願いします。

●事務局

資料－5に基づき説明。

●事務局

千頭委員長ありがとうございました。委員のみなさまにおいても計4回の策定委員会のご出席ありがとうございました。本日もご意見をいただいた内容については、委員長とご相談させていただきながら計画案を修正し、みなさまにご提供できればと思います。本計画は清須市において今後の緑のまちづくりを進めていくうえでの新たな指標となります。市民や事業者のみなさま、行政が互いに協働してこの政策を推進していきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第4回清須市緑の基本計画策定委員会を閉会します。

問 い 合 わ せ 先

建設部 都市計画課

052-400-2911 (代表)